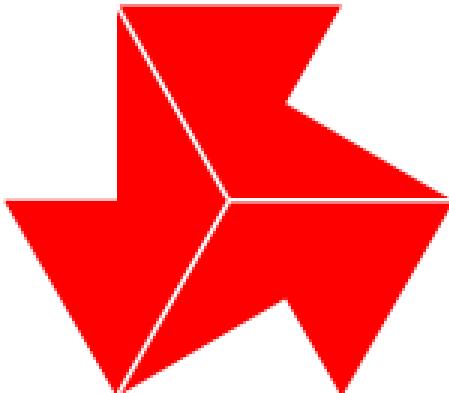


第61回近畿高等学校定時制通信制課程体育大会

バレーボール大会



KRAFT

力

KUNST

技

KLARHEIT

明朗な精神

これは「若い力とわざと明朗な精神」を象徴し、真紅の色彩は「高い理想」と
「希望に燃える若人の情熱」を象徴するもので、3つの「K」のマークは高体連旗
となって、高体連の主催による大会には必ず会場に掲げられます。

期	日	令和7年11月16日(日)
会	場	ウカルちゃんアリーナ(滋賀県立体育館)
主	催	近畿高等学校体育連盟 滋賀県教育委員会
共	催	大津市 大津市教育委員会
後	援	奈良県教育委員会 和歌山県教育委員会
		大阪府教育委員会 兵庫県教育委員会
		京都府教育委員会 滋賀県バレーボール協会
		滋賀県高等学校定時制通信制教育振興会
主	管	滋賀県高等学校体育連盟

バレーボール競技の部 役員

高体連定期制通信制部長 平井 忠美(滋賀県立大津清陵高等学校校長)

競技部長 佐野 裕基(滋賀県立大津清陵高等学校馬場分校副校長)

競技委員長 仲谷 昌浩(滋賀県立大津清陵高等学校馬場分校)

競技委員 雪岡 太一(奈良) 坂本 哲治(和歌山)
大矢 征礼(大阪) 三原 貴司(兵庫) 安藤 健(京都)

審判委員長 佐川 義明(滋賀県立大津商業高等学校)

審判委員 大崎 智 辻本 貴大 中村 優 西堀 正峰
松尾 祐季 間塚 一真 水島 舞香

総務委員長 玉置 大治朗(滋賀県立大津清陵高等学校馬場分校)

総務委員 三品 幸子

救護員 石塚 久美

補助員 滋賀県立大津商業高等学校 女子バレーボール部
滋賀県立大津高等学校 男子バレーボール部
滋賀県立石山高等学校 男子バレーボール部

【式典次第】

- | | |
|-------------|-------------|
| 開会式(10:00~) | 閉会式(決勝戦終了後) |
| 1. 選手・役員整列 | 1. 選手・役員整列 |
| 2. 開式通告 | 2. 成績発表 |
| 3. 開会宣言 | 3. 表彰 |
| 4. 優勝杯返還 | 4. 講評・挨拶 |
| 5. 挨拶 | 5. 閉式通告 |
| 6. 競技上の注意 | 6. 選手・役員退場 |
| 7. 連絡・諸注意 | |
| 8. 選手宣誓 | |
| 9. 選手・役員退場 | |

試合開始(10:30~)

競技・審判上の注意事項

- 1 競技は、2025年度版（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則によって行います。ただし、リベロプレーヤーの取り扱いは、全国高体連バレーボール専門部の通達により実施し、ネットの高さは、男子2.35m、女子2.15mとし、競技はすべて3セットマッチとします。
- 2 競技者の変更・番号変更及び監督・コーチ・マネージャーの変更は、監督会議までに所定の用紙で届けてください。プログラムの訂正も同様に提出してください。
- 3 前の競技終了後、直ちにプロトコールに入りますので、該当チームは待機してください。プロトコール終了後にチームが試合できない場合は棄権となり負けとなります。
- 4 弃権チームがあった場合には競技を繰り上げて行います。また進行上、コートに変更がある場合もあります。同一チームの試合が連続する場合は、15分の休憩を設けます。
- 5 監督・コーチ・マネージャーは、監督章・コーチ章・マネージャー章を左胸に付けます。監督・コーチの服装については清楚に心がけ、マネージャーについては選手と同じか、監督に準じてください。
- 6 ベンチに入れるのは監督・コーチ・マネージャー各1名と選手14名の合計17名以内です。ベンチに危険な物の持ち込みを禁止します。（ガラスの瓶など）
- 7 競技者のジャージ・パンツはチームで統一され、清楚で同一色の物で、競技規則に定められた選手番号（1から14の一連の数字が望ましい）を付けます。なお、ユニフォームは明らかに色の異なった2着を、できる限り用意してください。選手の靴とソックスについてもできる限り統一してください。
- 8 ユニフォームには必ず学校名を表記し、個人名が入っていない物を着用してください。
- 9 トスは前の試合終了後、キャプテン立ち会いのもと審判員が記録席前で行います。
- 10 トス終了後、直ちに公式練習に入ります。公式練習後、選手全員エンドラインに並び、挨拶後、スターティングメンバーがコートに残り、試合開始となります。
- 11 各セットの開始時には、選手はエンドラインに整列せず、ベンチより直接コートに入ります。セット終了後、6人のプレーヤーは一度エンドラインに整列し、主審の合図に従ってチェンジコートし、向かって右の支柱の外側を通り、直接自分のベンチに戻ります。
- 12 3セット目の13点になったときは、6人のプレーヤーはエンドラインに整列し、主審の合図に従い向かって右の支柱の外側を通り、コートを交換します。
- 13 公式練習は、最初のサーブ権を得たチームから3分間ずつ行います。なお、合同で6分間行うときは主

審に連絡してください。公式練習には、エントリーされた者以外は、参加できません。

- 14 競技中は常にフェアプレーに徹するようにしてください。
- 15 競技中のタイムアウトは、監督・ゲームキャプテンのみが公式のハンドシグナルを示すことによって要求することができます。競技者交代の要求を行うときは、交代する競技者はラリー終了後サブスティテューションゾーンに入り交代できるように待機します。また、コート内の競技者も手を挙げ、番号を審判員に明示し、副審の指示に従い交代します。
- 16 競技は1つのボールで行います。ボールがデッドになったら、速やかにサーブ権のあるチームのコートに転がして返球します。またコート外のボールは競技者が取りに行きます。
ラインジャッジや役員に取りに行かせないようにしてください。
- 17 競技中に汗などで床が濡れたときは、コート上の競技者が速やかにタオルで拭きます。このとき、競技者は集まって話をしたりしてはいけません。床拭き用タオルはチームで用意してください。タイムアウトの時や、セットの間には、チームでモップをかけてください。
- 18 その他、会場での特別の指示・連絡がある場合には、その会場の係の指示に従ってください。
- 19 体育館内の電源コンセントは使用禁止になっています。
- 20 ゴミは各チームで持ち帰ってください。
- 21 体育館周辺でのボールを使った練習は禁止します。